



株主の皆様へ

第134期中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで



株式会社 豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

(証券コード 6201)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第134期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

2008年以降の世界的な景気後退のなか、当社は早い時期から構えのスリム化のための取り組みを開始し、その後、景気が回復に向かう局面では、市場の変化を的確に捉え、ビジネスチャンスを実に業績につなげる活動を進めてまいりました。このような取り組みにより、企業体質を一層強化することができたと考えております。

本年度第1四半期には、東日本大震災の影響により、一時的に稼働停止を余儀なくされました。しかしながら、私どもでは、主力の産業車両事業におきまして、独自のサプライチェーンを活かした機動的な対応により、早期に挽回生産を行う段階まで回復させ、また、第2四半期には、全社的に生産を正常化させることができました。この結果、当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から9月30日までの6ヵ月間）の業績につきましては、当初計画を大幅に上回る業績を達成することができました。

このような状況のなか、中間配当金につきましては、前期の中間配当金と同様の、1株につき25円とさせていただきます。

前回の中期経営計画が最終年度を迎えたため、今後さらに成長するためのビジョンを今年度初めに発表する予定でしたが、震災の影響で延期いたしましたので、このたび「豊田自動織機グループ2020年ビジョン」として発表し、本誌におきましてもご説明申し上げます。

現在、企業間の競争は、先進国市場から新興国を含む全地球規模へ広がりがつあります。まさに世界経済は群雄割拠の様相を呈し、世界経済戦国時代に入ったと考えております。そうしたなか当社は、グローバル競争を勝ち抜き、2020年ビジョンを達成するために、今後、豊田自動織機グループ一丸となって取り組む所存です。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

2011年11月

取締役会長 伊村 晟 取締役社長 豊田 鐵郎



取締役会長
伊村 晟

取締役社長
豊田 鐵郎

連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期並の7,226億円となりました。利益につきましては、震災による影響を最小限にとどめ、主な増益要因として、産業車両セグメントの売上げが増加いたしました。しかしながら、自動車セグメントの売上げが減少したことに加え、人件費の増加、原材料の値上がりなどもあり、営業利益は前年同期を70億円（19%）下回る292億円、経常利益は前年同期を16億円（4%）下回る367億円、四半期純利益は前年同期を23億円（9%）上回る259億円となりました。1株当たり四半期純利益は前年同期を7円上回る83円、また1株当たり純資産は前期末を340円下回る2,960円となりました。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績に加え、自動車セグメントにおける売上げの増加や原価低減活動への取り組みなどにより、連結売上高は1兆5,800億円、営業利益は750億円、経常利益は850億円、当期純利益は550億円に修正しております。

なお、為替レートにつきましては、第3四半期以降、1USドル75円、1ユーロ105円を前提としております。

目次

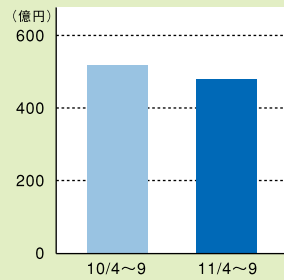
株主の皆様へ	1
連結業績の概況	2
事業別の概況	3.4
特集	5.6
～豊田自動織機グループ2020年ビジョン発表～	
連結決算	7.8
連結貸借対照表の概要	7
連結株主資本の変動について	7
連結損益計算書の概要	8
中間配当について	8
トピックス	9
株式の状況	10
会社の情報	10
株主メモ	裏表紙

事業別の概況

物流

物流部門におきましては、自動車部品などの運送事業の減少や、物流受託事業を行う子会社であった株式会社通販物流サービスの保有株式をすべて売却したことにより、売上高は前年同期を75億円(14%)下回る463億円となりました。

売上高

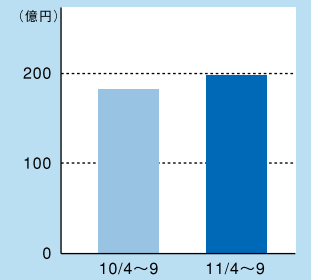


陸上運送サービス

繊維機械

繊維機械部門におきましては、新興国向けが好調に推移したことにより、売上高は前年同期を12億円(6%)上回る197億円となりました。

売上高

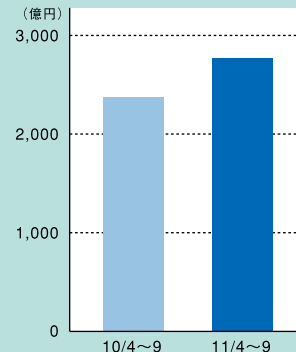


JAT710
エアジェット織機

産業車両

産業車両部門におきましては、震災による国内仕入先への影響があったものの、生産への影響を最小限にとどめ、主力のフォークリフトトラックが国内・海外向けともに増加しました。この結果、当部門の売上高は、前年同期を461億円(20%)上回る2,769億円となりました。

売上高



GENE0-B
カウンタータイプ電動フォークリフト

自動車

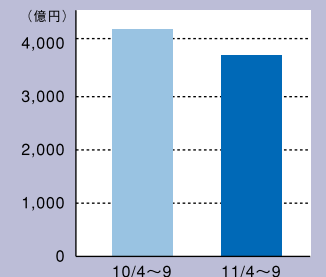
自動車部門におきましては、震災の影響により、一部仕入先での部品生産が停止し、生産活動の停滞を余儀なくされた結果、売上高は前年同期を483億円(12%)下回る3,606億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツ・RAV4が減少したことにより、売上高は前年同期を385億円(20%)下回る1,552億円となりました。

エンジンにつきましては、主に新興国向けのKD型ディーゼルエンジンが増加したものの、AR型ガソリンエンジンなどが減少したことにより、売上高は前年同期を76億円(8%)下回る906億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内向けが減少したものの、海外向けが堅調に推移した結果、売上高は前年同期並の967億円となりました。

売上高



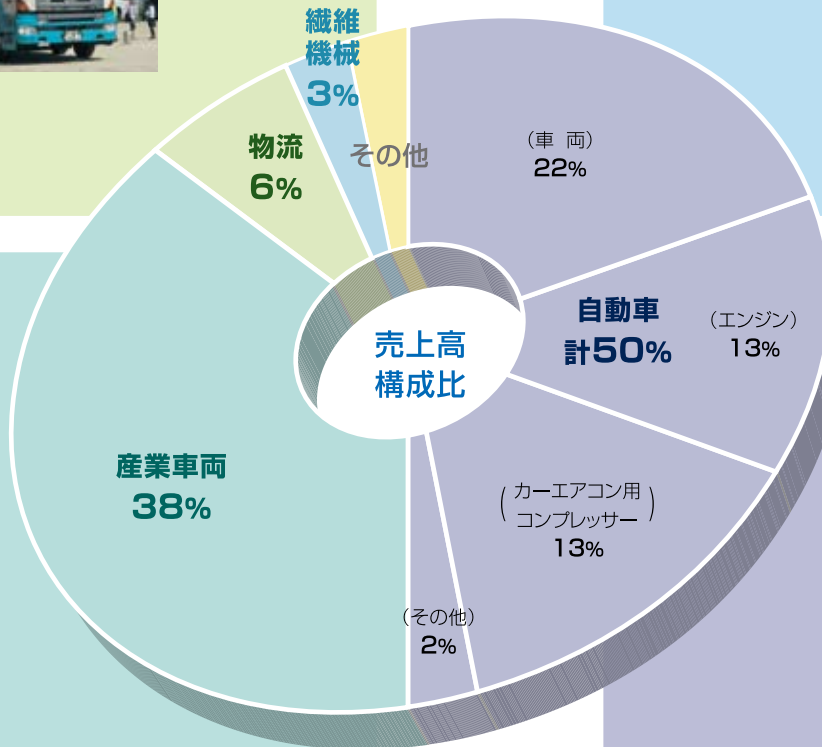
ヴィッツ



KD型ディーゼルエンジン



トヨタ プリウス搭載
カーエアコン用電動コンプレッサー ES14



特集～豊田自動織機グループ2020年ビジョン発表～



お客様のニーズを先取りする商品・サービスを継続的に提供することにより、世界の産業・社会基盤を支え、豊かな生活と温かい社会づくりに貢献する

めざす姿

現在、わが国の企業は、グローバルで厳しい競争を強いられており、今後を見通しにくい状況が続いております。

そうしたなか当社は、自社商品・自社技術の力をさらに高め、これまで以上に「自立」して、自ら道を切り開いていくことで、次の10年間「さらなる成長」をはかってまいります。このためにめざす姿を示し、進むべき道筋を明確にするために、「豊田自動織機グループ2020年ビジョン」を策定・発表いたしました。

私どもは、今後、ビジョンの達成に向け、当社グループ一丸となって邁進し、世界の人々の豊かな生活と温かい社会づくりへの貢献を通じ、株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。

重点方針

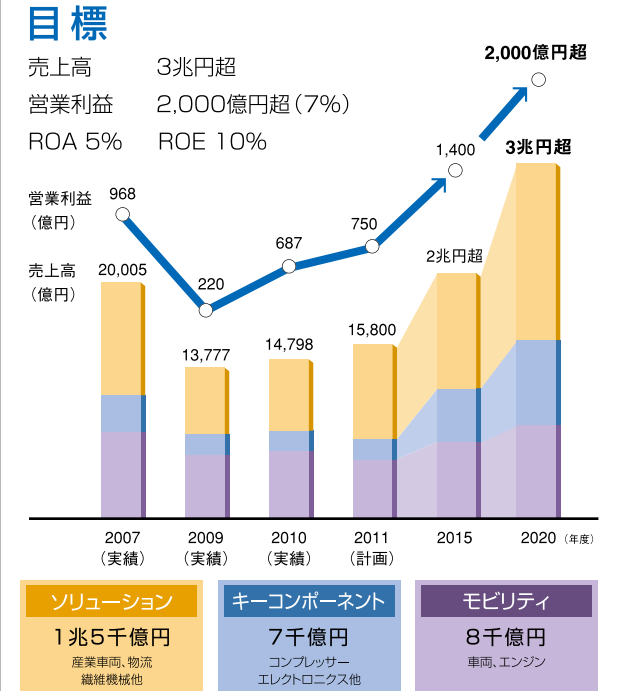
具体的な取り組み内容



当社は、「ものづくりを通して、社会や世の中のお役に立つ」という基本的な考えのもと、お客様に喜ばれる商品・サービスのご提供に努めています。

- ①3Eをキーワードとした、環境に優しい省エネ型の商品開発
- ②アフターサービスをはじめとしたバリューチェーンの拡大
- ③世界市場での事業展開

に重点を置き、「ソリューション」「キーコンポーネント」「モビリティ」の3つのビジネスユニットを大きく成長させ、めざす姿の実現に取り組んでいきます。

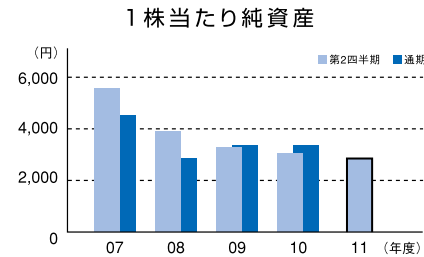


連結決算

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

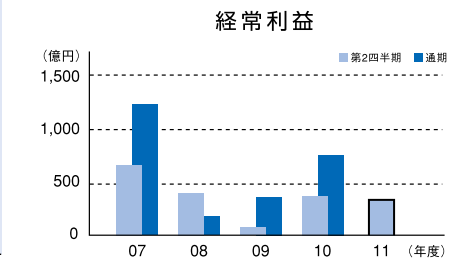
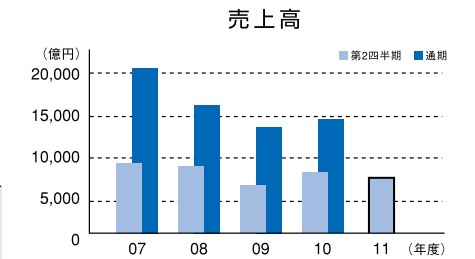
	前期末 2011年3月31日現在	当第2四半期末 2011年9月30日現在
資産の部		
流動資産	670,893	757,177
固定資産	1,810,559	1,593,796
資産合計	2,481,452	2,350,974
負債の部		
流動負債	511,944	540,320
固定負債	893,568	841,655
負債合計	1,405,512	1,381,976
純資産の部		
株主資本	547,968	566,496
その他の包括利益累計額	480,248	356,199
新株予約権	2,132	2,355
少数株主持分	45,589	43,946
純資産合計	1,075,939	968,998
負債純資産合計	2,481,452	2,350,974



連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
売上高	729,807	722,638
営業利益	36,205	29,210
営業外収益	15,854	20,317
営業外費用	13,666	12,757
経常利益	38,393	36,770
四半期純利益	23,683	25,929



中間配当について

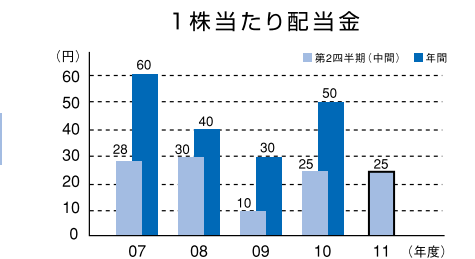
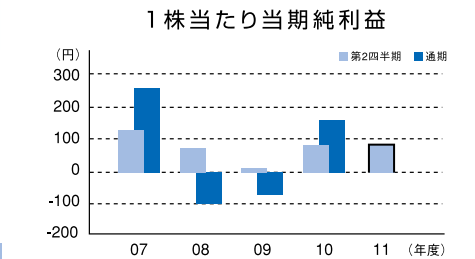
2011年10月28日開催の当社取締役会決議により、2011年9月30日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

中間配当金

1株につき25円

効力発生日ならびに支払開始日

2011年11月25日



連結株主資本の変動について

(2011年4月1日から2011年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間において、
7,789百万円の剰余金の配当を行っております。

トピックス

1.ベトナムにフォークリフト用部品などの生産子会社を設立

2011年4月、ベトナムにフォークリフト用部品などを生産する新会社「Toyota Industrial Equipment Vietnam Co., LTD.」を設立しました。

グローバルに安定したサプライチェーンを構築するため、これまでの当社高浜工場（愛知県）での生産に加え、同社においても電動フォークリフト用モーターなどの主要な部品を生産し、世界の当社フォークリフト組立工場へ供給していきます。

2.世界最大の樹脂パノラマルーフがトヨタプリウスαに搭載

高まる自動車軽量化のニーズに応えるため、当社は、軽量新素材として期待される樹脂ウインドウでは世界最大面積*となる樹脂パノラマルーフを製品化し、トヨタ自動車株式会社が発売した「プリウスα」に採用されました。この樹脂パノラマルーフは、ガラス製ルーフと比べ、約40%の軽量化を実現しています。

今回の製品化においては、当社が独自に開発した成形技術やコーティング技術などにより、高品質・高精度の大型樹脂ウインドウの量産化に成功しました。

今後、国内外のカーメーカーへの拡販をはかり、自動車の軽量化による燃費向上に貢献していきます。*2011年5月16日現在



3.「豊田式汽力織機」が機械遺産に認定

2011年8月、当社の所有する「豊田式汽力織機」が、社団法人日本機械学会の認定する機械遺産第47号として選定されました。「豊田式汽力織機」は、社祖・豊田佐吉が1896年に発明した日本で最初の動力織機です。動力化により作業員一人当たりの生産性を約20倍向上させながら、数々の自動化装置の装着により織物品質も大きく向上させることで、織布業を国の重要産業に引き上げることに貢献しました。

現在では、この「豊田式汽力織機」などに込められたモノづくりの精神を受け継ぎ、当社のエアジェット織機は世界販売台数シェアNo.1*を確保しています。

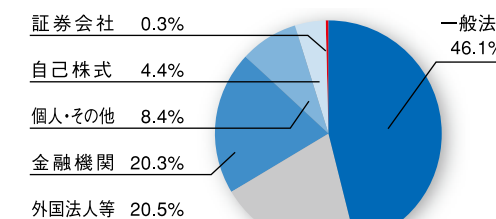
*2010年 ITMF統計 (International Textile Manufacturers Federation)



株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	325,840,640株
株主数	21,616名

所有者別株式の状況



大株主の状況

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	76,600
株式会社デンソー	29,647
東和不動産株式会社	15,697
日本マスタートラスト信託銀行株式会社〈信託口〉	9,944
豊田通商株式会社	8,289
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〈信託口〉	7,322
日本生命保険相互会社	6,735
アイシン精機株式会社	6,578
サード アヴェニュー ヴァリュウ ファンド	6,367
三井住友海上火災保険株式会社	5,345

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式14,152千株があります。

会社の情報 (2011年9月30日現在)

設立 1926年11月18日 従業員数 連結42,243名、単独13,035名
 資本金 804億円 本社所在地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 TEL 0566-22-2511(代表)

■取締役

取締役会長 伊村 晟
 取締役社長 豊田 鐵郎
 取締役副社長 吉田 和憲
 取締役副社長 豊田 康晴
 取締役副社長 三矢 金平
 取締役副社長 安形 哲夫
 専務取締役 加藤 正文
 専務取締役 山田 耕作

専務取締役 関 森 俊 幸
 専務取締役 山 口 千 秋
 専務取締役 佐々木 一衛
 専務取締役 森 下 洋 司
 専務取締役 古 川 真 也
 専務取締役 大 西 朗
 専務取締役 鈴 木 雅 晴
 取締役 池 永 仍 士
 取締役 張 富 士 夫

■監査役

常勤監査役 吉田 成 毅
 常勤監査役 石川 覚 雄

監査役 渡 辺 捷 昭
 監査役 三 田 敏 雄
 監査役 ハンズユー・ゲ・マルクス

■執行役員

常務執行役員 小 川 隆 希
 常務執行役員 大 久 保 孝 司
 常務執行役員 佐々木 憲 夫
 常務執行役員 小 河 俊 文
 常務執行役員 大 西 敏 文
 常務執行役員 野 崎 晃 平
 執行役員 山 本 卓
 執行役員 土 本 幸 久
 執行役員 大 塚 幹
 執行役員 浅 井 裕 章
 執行役員 伊 藤 天

執行役員 山 岸 俊 哉
 執行役員 ジェームス・マルパッソ
 執行役員 原 田 淳 一
 執行役員 岡 本 幹 彦
 執行役員 中 野 卓
 執行役員 沢 田 保
 執行役員 藤 原 啓 税
 執行役員 村 田 康 弘
 執行役員 水 野 陽 二 郎
 執行役員 川 口 真 広
 執行役員 豊 田 晋

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上記連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711

単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（100株未満）については市場で売買できません。

ご所有の単元未満株式の売買をお考えの場合は、以下の制度をご利用ください。

- 単元未満株式**買取**制度 単元未満株式を**当社にご売却**いただくことができます。
 - 単元未満株式**買増**制度 単元株式（100株）にするために、不足分を**当社からご購入**いただくことができます。
- お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）までお問い合わせください。

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

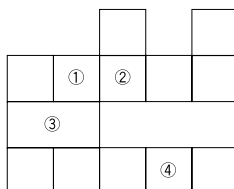
株式に関する各種お手続きの窓口につきましては、株主様の株式の所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

ご所有されている株式の口座区分	お問い合わせ先
特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
証券口座	口座を開設されている証券会社 ※

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

この中間報告書に含まれる将来に関する記述は、現在において入手可能な情報に基づき記載されたものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に係るリスクや不確実性により、記述と大きく異なる可能性があります。

表紙の写真



- ① 技術系新入社員が、原点に立ち返った基礎教育の一環としてエンジンの分解・組立を習得。
- ② 欧州のコンプレッサー生産会社TDDKが、2011年4月に生産累計2,000万台を達成。
- ③ 欧州の産業車両統括会社TMHEが、2011年5月にドイツのハンノーバーで開催された国際物流展示会CeMAT2011に出展。
- ④ 当社班長会が、2011年4月に海上の森（愛知県瀬戸市）で間伐活動を実施。



株式会社 豊田自動織機

〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
TEL 0566-22-2511（代表） FAX 0566-27-5650
ホームページ <http://www.toyota-shokki.co.jp/>